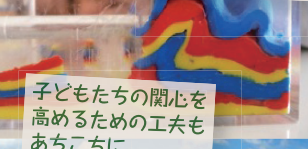


「木の糸」は木登りを覚え、高さごとに生息している生き物の変化、地衣類などを観察するキャンプです。




子どもたちの関心を高めるための工夫もあちこちに。




科学キャンプで 子どもに 未来の目を!!

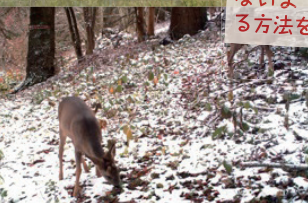
オブジェクティブ・サイエンス・
インターナショナル
八木沼 明子



生き物の邪魔をしないように観察する方法を学びます



晴れた夜は野外でキャンプ。
一番星が見渡せる場所に行き天体観測をします



子どもたちは好奇心のかたまり。

自由でのびやかな思考力を育てくれる一番の教師は**自然**。

そのアタマには、あらゆる情報がおもちゃ箱のようにぎっしり詰まっていることでしょう。

そんな子どもたちに、**知識も経験も豊かな専門家のアドバイス**があれば、子どもの好奇心の芽はぐんぐん伸びることでしょう。

日本ではまだあまり知られていない**科学キャンプ**の魅力を、**スイス**からお届けします!!



キルギスタンでユキヒヨウの調査のため大地を駆ける



土についての考古学的研究、有機農法、温暖化。さまざまな分野の専門家がインストラクターとしていて学際的な研究になります

子どもの純粋な好奇心を 応援するOSIの科学キャンプ。

オブジェクティブ・サイエンス・インターナショナル (OSI) は、1992年に創設されたスイスのジュネーブに本部を置く**非営利の非政府組織 (NGO)** です。

純粋な好奇心に基づく科学を通して自然の秘める力に迫り、未来へとつながる持続可能な発展に寄与するために、広く多くの人々が科学研究プロジェクトに参加できる科学キャンプを企画運営しています。

OSIでは、**子どもたちの好奇心・探究心・自立心を育てることを大切にしながら、常にオリジナルで挑戦的な研究プロジェクトを通して、持続可能な発展に寄与することを目指してきました。**

日本ではまだあまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、ヨーロッパではもう50年以上前から、夏休みや冬休みなどの長期休暇を使って子どもたちが自然と触れ合いながら科学を学ぶことのできる機会として、様々な種類のキャンプが発達してきました。

科学キャンプでは、子どもたちは1週間～1か月という長期間、**家族を離れて自然の中にある施設で、新しい友だちと一緒に科学に打ち込み、身の回りの物事や現象への関心を深め、世界へのアンテナを広げます。**

科学滞在センターと呼ばれる施設には、**実験室や工作室といった設備はもちろん、食堂やシャワー、寝室、多目的ホール、テニスコート、グラウンドなど、長期間にわたる滞在を快適に過ごすために必要なものがものがすべて揃っています。**

2013年も盛りだくさんのメニューを用意!!

今年もOSIの科学キャンプは盛りだくさんで見逃せません。何といっても今年の目玉は、**創立21年目にしてようやくスタートする日本語でのキャンプ!** 多様な文化の友だちとの集団生活を通して学ぶことは、科学に関する知識だけではありません。美しい景色、楽しい時間、新しい発見の日々は、**子どもたちが平和や自然への敬意を深める機会にもなります。**そして、それこそが、未来へとつながる持続可能な発展に不可欠だと考えています。



双眼鏡の向こうに待っているのは新しい世界!

OSIの科学キャンプの
特徴は次の3つ!

1. 研究プロジェクトに基づいて、子どもたち自身が自分たちで調査をし、新たな発見を目指す斬新な教育方法

子どもたちが自立して研究に専念できるように、OSIが用意するのは、優秀なインストラクターと強力な専門家によるバックアップ。

インストラクターがあれこれと指示をすることはありません。何がしたいのか、何を知らりたいのか、そのためにはどうしたらいいのか。すべて自分たちで考えるのです。

「そんなことが本当にできるのか？」と疑問に思う保護者の方もいらっしゃるでしょう。でも、これこそが、OSIの科学キャンプの醍醐味なのです。私たちがこの方法を選んでいるのには理由があります。それは、私たちの科学キャンプの一番の目的が、「持続可能な発展に貢献することができるようになること」だからです。

この「持続可能な発展」というテーマは、使われる頻度こそ増えたものの、実際には具体的な行動につなげることが難しいのが現状です。

無難な答えが与えられるのを待つのではなく、**自らの考え方や意見を、科学的に裏付けられるようになることが最大の目的**です。

OSIの主体的な研究プロジェクトを通して、既存の正答のない課題に対する自己の姿勢を定め、さらにそこに責任をもつという一連の過程を身につけてほしいと願っています。



研究も遊びも本気で取り組むことが大切です

2. インストラクターは子ども5人に1人

この目的を達成するために、OSIではおおむね**5人の参加者に対して1人のインストラクターを配置**することで、非常にきめ細かい指導を実現しています。

1人ひとりの個性を活かしながら、子どもたちが自信を持って研究に取り組むことができるように、全面的にサポートします。

インストラクターの採用にあたっては、科学系の専門ばかりでなく、**多様なバックグラウンドを持つ人を選考し、綿密なトレーニングとミーティングを重ねて**キャンプに臨みます。こうして集まったインストラクターは、他の科学キャンプでは見られないような熱意をもって、その思いが子どもたちに伝わることで、より効果的な研究環境を作り出すという一面も持っています。



少人数制なので研究分野についてのきめ細やかな指導が受けられます



実験器具も最先端のものを使います。毎日たくさんのアクティビティが用意されています

3. 開催地の魅力をいかした アクティビティ

研究プロジェクトの間には、開催地ならではの数々のアクティビティを楽しめるよう用意しています。大自然の中での夜空観察やキャンプファイヤーはもちろん、川下りやクライミング、乗馬にいたるまで、子どもたちの体力と希望に合わせて、どんなことにも挑戦できます。もちろん特別なテクニックが必要なものは指導しますし、安全にも十分配慮しています。どれだけ遊

んでも料金はすべて同じ。心ゆくまで思う存分楽しむことができます。

体と頭、そして心をダイナミックに駆使することのできる数週間は、忘れられない思い出になるだけでなく、子どもたちの未来を握るカギになることでしょう。

開催地 & テーマ

開催地は、フランスやカナダのケベック州（フランス語が公用語）、アイスランド、キルギス共和国などさまざま。

キャンプのテーマも、生態系や気候、物理、地質、考古学、農業など、複雑に関係し合う多様な要素を分離することなく分野横断的に扱うことで、総合的に考える力を身につけることができます。

世界各地から集まる新しい友だちと一緒に、科学の冒険に出かけましょう！

詳細は、ウェブサイトをご覧ください。お電話やメールでのお問合せもお待ちしております。



日本でも過去に3回
キャンプをしました。
2014年も開催予定です

<http://www.science-vacances.com>